

新発田市 令和2年度 第1回定例記者会見

- 1 日 時 令和2年4月6日（月）午前11時～
- 2 場 所 ヨリネスしばた502会議室
- 3 内 容
 - 新型コロナウイルス復興キャンペーン
 - 新型コロナウイルス感染防止のための行動記録の呼びかけ
 - 道の駅加治川リニューアル整備事業に関するサウンディング型市場調査
 - 落谷虹児「花嫁」フレーム切手の販売
 - 住宅リフォーム支援事業

あいさつ

- 新型コロナウイルスについて、今朝のニュースを見ますと、安倍首相も緊急事態宣言を行う決心をしたという話が囁かれているようです。遅いか早いか分かりませんが、明日には一定の方向性が出されるのではないかと思います。
- どのような内容の宣言になるかは推し量ることができませんが、地域指定にはなるのではないかと思います。新潟県は35の方が感染されたとのこと。
- しかし、オーバーシュートやロックダウンといった恐ろしい状況にはなっていないことからすれば、全国一律の緊急事態宣言ではなく、地域指定なのではないかと思います。
- 新潟県はカテゴリーとしては、感染地域というエリアに入っているようですが、緊急事態宣言の対象地域に入る入らないに関わらず、気を緩めるつもりは決してありません。
- 新潟県が対象地域に指定されなくても、緊急事態宣言が出された段階で当市の対策本部会議を開催し、今後、新発田市がとるべき行動を再度確認したいと思っていますところ。

- 天がなぜこの試練を私たちに与えたのか、常に考えています。解決できない宿題は与えないだとか、天のすることに無駄はないなどと言いますが、果たしてそうなのか。あまりにも難題な宿題で、こんな試練を与えた意図を推し量ることができない状況です。
- しかし、人類は長い歴史の中で、このような局面を切り抜けて進化をしてきたのだらうと思っています。きっと、あの時あの刹那があったからこそ、今の自分たちがあると言えるような社会を作るべく、一生懸命努力をしているところです。
- いずれにせよ、「コロナウイルスに負けてたまるか」、このことを市民と共有して乗り越えていきたいと思っています。
- 今朝は、子どもたちが元気に学校に通学する様子を見ることができました。市内では感染者が発生していないことを受け、小・中学校の再開を判断しましたが、しかし、保護者や子どもたちも不安に思っていることと思います。
- その不安の解消につながるよう、小・中学校の児童・生徒全員にマスクを配付しました。感染拡大防止が一番の目的ですが、マスク不足、とりわけ子ども用のものが不足していると聞いています。
- マスクを持っている子と持っていない子、この違いによる新たな差別や偏見が教育現場であってはならないということで、子どもたちにマスクを2枚ずつ配布させてもらいました。新学期を迎え、元気に勉強やスポーツを楽しんでもらいたいと思っています。
- また、異動の時期で転出入される方もいますし、首都圏から帰省をしている方もいます。2週間程度は慎重な行動をしていただけるようご理解をいただきたいと思っています。
- 話は変わりますが、新年度になりレイアウトを変更して、広報広聴係の中に記者の皆さんにお使いいただけるスペースを用意しました。ぜひとも、ご活用いただければと思っています。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、「新型コロナウイルス復興キャンペーン」について

- 先程来、話題にしております新型コロナウイルスについて、地域経済への影響を緩和するために準備を進めてきた、緊急経済対策の内容が固まりましたのでご説明します。
- 当市では、今般の事案で大きな打撃を受けている、市内宿泊業、飲食業、交通事業者を支援し、経済損失を最小限に食い止めるため、予算総額 1 億 2 千万円のキャンペーンを実施することにしました。
- この緊急対策に係る経費は、4 月 10 日（金）に開催を予定している、市議会 4 月臨時会で、議員各位の賛同をいただいたのちに予算化されることとなります。
- 予算総額で、1 億 2 千万円と申しましたが、内訳としては市の負担が 1 億円、残り 2 千万円は事業者の皆さんにご負担いただく予定にしています。官民連携で痛みを分かち合いながら、ともに難局を乗り越えていくため、企画しました。
- 当分の間、市内事業者の方には、痛みが伴うことを覚悟してもらわなければなりません、経済対策は、市と市内事業者がともに未曾有の災害に正対していくための、「希望の灯」だと思っています。
- 具体的な内容としては、「^{いま}・^{とく}キャンペーン」と題し、被害が大きい月岡温泉のホテル・旅館、市内ホテル・旅館、飲食業、交通事業者の 4 つの業種ごとに割引制度などを設け、まずは、新潟県内をターゲットとして誘客促進を図り、消費を促していきたいというものです。
- なお、この緊急経済対策は、適切な時期に行う必要があることから、新型コロナウイルスの収束状況を十分に見極めながら、速やかに実施したいと考えています。
- また、実施体制としては、月岡温泉組合、市内旅館組合、飲食店組合、そして、新発田商工会議所、各商工会と行政が連携し、実行委員会を組織して取り組むことにしています。

○こうした「オールしばた」による取組が早期に実を結び、地域経済が回復することを希望します。

○併せて、新発田のまちなかに市民の皆さんの楽し気な声に戻ることはもとより、市内名所においては観光客の喜々とした表情が見受けられる日が、一日も早く来ることを願いたいと思っています。

次に、「新型コロナウイルス感染防止のための行動記録の呼びかけ」について

○当市では、咳エチケットや、いわゆる「3密^{みつ}」を守るなどの注意喚起を行い、市民の皆さんに向けて新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んでいただくようお願いをしてきました。

○こうした取組を、新発田を離れられる方には転出先でも引き続き、また、新たに新発田にお越しになられる方には、ともに感染拡大防止に努めていただく際に活用してもらうため、当市では転出入者に対し、行動記録表の配布を行っています。

○新型コロナウイルスの感染拡大防止には、一人ひとりの心がけが大変重要になります。「自分が感染しないよう最大限の注意を払うこと」、そして、「人にはうつさないという他者への思いやり」が、まさに必要になります。

○今は国家の非常時です。市でも4月1日付けで採用した新採用職員のうち、県外在住者については、2週間程度の自宅待機をお願いし、本日から登庁しています。また、着任した地域おこし協力隊員にも同様の対応をお願いしているところです。

○県にもこうした取組の必要性についてお話をし、全県的な行動にしていくお願いをしたいと考えています。また、行動記録表を手にするのをきっかけとして、感染拡大防止に向けた意識付けにつながればと思います。

次に、「道の駅加治川リニューアル整備事業サウンディング型市場調査」について

- 当市では、4つの視点をもとにしたまちづくりに取り組んでいますが、その一つに「産業振興」があります。中でも、観光分野はその中核をなすもので、いわば「まちづくりのエンジン」と言えます。
- 新型コロナウイルスの影響で、観光分野においても暗雲が垂れ込めていることは否めず、大変心配な状況ではありますが、こういう時こそ、国内需要の掘り起こしが必要であると考えています。
- 新発田の観光分野の最大の武器は月岡温泉であることは言うまでもありませんが、最近では、ご当地グルメや特産品などが人気の「高速道路のサービスエリア」や「道の駅」を取り上げるテレビ番組などを目にすることもあります。
- 市では、こうしたニーズをとらえ、市内における観光ルートの北の玄関口である「道の駅・加治川」を、地元の食や農産物・特産品などの販売拠点としてリニューアルし、令和4年のオープンを目指すことにしました。
- その取組の第一段階として、同施設をより効果的にバージョンアップさせるため、サウンディング型市場調査を実施します。
- この調査により、民間事業者のノウハウやアイデアを把握するとともに現在抱えている課題を解決し、地元住民に愛され、また、多くの観光客に訪れていただける観光拠点施設となるよう、事業を進めていきます。
- 5月14日（木）・15日（金）には、事前説明会を開催するとのことです。ぜひ、多くの民間事業者の方に参加してもらい、同施設が賑わいや交流人口を創出できる施設になるよう、さまざまな提案・意見をお聞かせいただきたいと考えています。

次に、「落谷虹児作品フレーム切手販売」の話題について

- 4月15日（火）から、新発田出身の叙情画家・落谷虹児の代表作品「花嫁」を題材にしたフレーム切手が、下越エリアの郵便局や日本郵便株式会社のネットショップで販売されます。

- この切手は、平成 27 年に第 1 弾が販売され大好評を得ており、完売後には再販を望む声が多く寄せられたと聞いています。それに応える形で、デザインを一新し、この度、第 2 弾のフレーム切手の販売が決定したということになります。
- 皆さんもご存じのとおり、きれいな顔立ちの女性が描かれた「花嫁」は、これから嫁ぐ花嫁の素直で無垢な雰囲気が伝わり、多くの人々を引き付ける魅力ある作品です。
- 多くの方が切手をお求めになり、「花嫁」という作品の素晴らしさを感じてもらいたいですし、作者である 露谷虹児 にも関心を寄せていただき、氏の作品を展示する 露谷虹児 記念館にも足を運んでもらえればと思っています。
- また、この度の販売に合わせ、発売初日 4 月 15 日（水）の午後 1 時 30 分から、市内郵便局の皆さんが市長室にお越しになり、切手を贈呈くださるのとのこととです。こちら、ぜひ、ご取材くださるようお願いいたします。

次に、「住宅リフォーム支援事業」について

- 例年、市民の皆さんから好評いただいている、当市の住宅リフォーム支援事業について紹介します。
- この事業は、住宅の長寿命化や市民の住環境の向上を目的に、リフォーム費用の一部を補助するもので、平成 24 年度に事業を開始し、これまでに 2900 件ほどの交付実績があります。
- 一方で、住宅リフォーム業界を介して地域経済の活性化を図る効果もねらっており、令和元年度の経済効果は約 9.8 倍となっています。
- また、「子育て世帯」や「市外からの転入世帯」など一定要件に該当する場合は、補助金を上乘せするなど、「新発田で子育てをしたい」「新発田で家を持ちたい」などと考える方にとって、大変有利な内容になっています。
- 申請は 5 月 12 日（火）から受け付けますので、ぜひ、この補助制度をご利用いただきたいと思っています。

今月も残念ながら新型コロナウイルスの影響で、このほかの情報はありません。一日も早く、さまざまな情報を記者の皆さんにお届けしたいですし、市民の皆さんがイベントなどを安心してお楽しみいただける日が来れば良いと願っているところです。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。